

# 平成27年臨時総代会開催

平成27年10月27日午前10時両総土地改良区会議室において、総代157名出席のもと農林水産省関東農政局並びに千葉県農林水産部より多数の来賓にご臨席いただき、臨時総代会を開催いたしました。



## 理事長挨拶 〈要約〉



### 理事長 森 英介

ここ両総管内においても、まだまだ厳しい農業経営となっている中、TPPについては、総代の皆様方も大変心配しているのではないかと思います。今後、国内対策が極めて重要であり、どの分野をどの様にしてバックアップしていくかと言う議論をしているところで、今後とも日本の農家の生産意欲が減退することのないようにしっかりとした対策を講じて参りたいと考えております。

平成25年度より組合費負担検討特別委員会で協議を重ねてまいりました、賦課基準について、審議の結果「平成28年度の経常費、維持管理費の賦課基準は、1,000㎡当たり、田で4,300円、畑で1,075円を上限とし、翌年度以降については、毎年審議される予算編成方針の中で決定する。」と承認されたところでです。

また、総務委員会での機構改革についての協議の結果、4出張所から3支所への移行等の答申が理事会へ出されたところで。今後は、この答申と管理委員会支部の事務関係は、本改良区で行うことなどと併せて、組合費の負担軽減に努めてまいりますので、総代の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ご来賓挨拶 〈要約〉



### 農林水産省関東農政局

### 利根川水系土地改良調査管理事務所 次長 相場 千秋様

両総地区については、平成26年度に国営事業が完了し、優良な農業基盤を背景に大規模な営農が行われており、また、皆様方におかれましては、農業水利施設の適切な維持管理にご尽力いただいているところであります。しかしながら、造成施設完成後相当年数が経過している施設があることも事実であり、また、営農面では新規需要米の作付け面積増など、水需要が多様化するなどの問題も今後顕著に表れてくることも考えられます。TPPによる、新たな国際環境の下でも、強く豊かな農林水産業、美しく活力のある農山漁村を創り上げていくことが重要と考えております。

平成28年度農林水産関係予算の概算要求におきましても、施設の長寿命化や日本型直接支払などを推進することにより「強い農林水産業のための基礎づくり」と「農山漁村の活性化」実現に向け、取り組んでいくこととしております。利根調といたしましても、引き続き地域の皆様方との連携を密に、現場の実情に即して、皆様方の要望に出来るだけの確に答えられるような、業務運営に努めて参りたいと考えておりますので引き続きよろしくお願いいたします。



### 千葉県農林水産部 次長 中野 裕三郎様

現在農家を取り巻く環境は、担い手の減少や高齢化などが進む中でTPPが大筋合意されるなど、国際化がますます進展しており競争力の強化が強く求められています。このような中、県では本県農業の競争力強化や農家の経営安定に向けた対策を進める上での前提条件であります、用排水施設の整備や圃場の大区画化など土地基盤整備事業に厳しい予算状況の中ではありますが鋭意取り組んでいるところで。

両総土地改良区の関連といたしましては「かんがい排水事業」両総茂原南地区、両総南条支線地区、両総多古支線地区が現在実施中であり両総茂原西部地区が来年度の採択を目指して現在協議調整中であり。また「経営体育成基盤整備事業」森戸地区が今年度採択されたところであります。

なお、県内の農業水利施設全般において老朽化が進行し、事故の増加なども懸念されておりますので、両総土地改良区におかれましては「施設の機能診断」を昨年度実施されましたように、両総用水施設の計画的な更新や改良など、適正な管理になお一層ご尽力いただきますようお願いいたします。